

1. 科目名 (単位数)	感情・人格心理学 (2 単位)	3. 科目番号	SPMP3333
2. 授業担当教員	若松 直樹		PSMP3333
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	秋期 (伊勢崎) 春期 (王子)
6. 履修条件・他科目との関係	対人支援にかかわる心理学科目を踏まえることによって理解が促進されるでしょう。		
7. 講義概要	人格心理学とは、個人の内側から人間の行動の法則をみようとするものである。なお人格とは、性格とほぼ同じ意味で用いられるが、態度 (認知・感情・行動)、興味、価値観並びに知的理解度などを含んだ全体的な特徴を指す。ここでは人格と性格とを分けない考え方に立ち、さまざまな観点から人格の特徴を明らかにしていく。		
8. 学習目標	人間とはなにか。人間の本質を理解し、自己理解だけでなく、他者を理解し、人を見る目を養成することがこの授業の最大の目標である。人を見るときに、様々なバイアスがかかるが、それがなぜかということを理解し、説明できるようになることも学習目標の一つである。具体的には以下のとおりである。 1. 性格とは何か、その研究史からも理解できる。 2. 性格に関する諸理論が分かり、多面的に人の行動をみることが出来る。 3. 性格の診断の仕方が理解できる。 4. 性格の形成のされ方が分かる。 5. 性格の正常・異常について様々な観点から理解できる。 6. 感情に関する理論を理解し、感情喚起の機序並びに感情の行動への影響について説明できる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	○評価のもとになるレポート課題 感情や人格に関連する事柄 (社会やネット上で話題になること、身近な人間関係のなかで観察されることなど) における自身の関心や問題意識を示しながら、それについて教科書の知見から説明や解釈を展開しなさい。また、その関心や問題意識を解決・支援・発展させるために、心理学を学んだ者や心の支援者 (たとえば公認心理師や臨床心理士など) にはどのような関与が考えられるかを述べるもの。 ○レポートの執筆量や提出期限などはおって示します。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】大山泰弘・佐々木玲仁 『感情・人格心理学』、一財)放送大学教育振興会 (2,400 円+税)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 自己理解や他者理解を通して、人を見る目を養うことができているか。 2. 他者を見る時、さまざまなバイアスがかかるものであるが、そのメカニズムを理解できているか。 3. 感情に関する理論を理解し、感情喚起の機序並びに感情の行動への影響について説明できるか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 授業への積極的参加 総合点の 30 % 2. 課題レポート 総合点の 35 % 3. テーマ毎の理解度 総合点の 35 %		
12. 受講生へのメッセージ	臨床や・対人支援の心理学を志向する皆さんにとって、人格や性格、感情の働きには大いに関心をもつ事柄のはずです。人はそれぞれ多彩ですが、その人をその人らしくする基礎となる人格・性格・感情という概念について、学問的な共通概念を理解することは大切です。それらを踏まえ、自身の体験なども含め、それぞれがもつ「人柄や個性」を重視しながら多様な人間理解に結びつけてください。		
13. オフィスアワー	初回講義時にお知らせします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	1 感情と人格 - 講義をはじめににあたって	事前学習	[1(PP.9-21)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 2 回	2 感情はなぜあるのか	事前学習	[2(PP.22-34)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 3 回	3 感情を表す - 表情のはなし	事前学習	[3(PP.35-46)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 4 回	4 感情の発達	事前学習	[4(PP.47-61)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 5 回	5 感情と記憶	事前学習	[5(PP.62-76)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 6 回	6 感情の生理的基盤	事前学習	[6(PP.77-92)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 7 回	7 感情の障害	事前学習	[7(PP.93-106)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 8 回	8 感情の測定	事前学習	[8(PP.1071-118)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。

			情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 9 回	9 人格の概念	事前学習	[9(PP.119-131)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 10 回	10 人格に記述-類型論と特性論	事前学習	[10(PP.132-149)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 11 回	11 人格の測定	事前学習	[11(PP.150-166)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 12 回	12 人格の発達	事前学習	[12(PP.167-180)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 13 回	13 人格と環境-文化と状況	事前学習	[13(PP.181-194)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 14 回	14 人格と心理療法	事前学習	[14(PP.195-209)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。
第 15 回	15 感情・人格と日常	事前学習	[15(PP.210-221)]の問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。 情報に対する意見を自身の言葉でまとめる。